

令和8年熊本地震の被災地に保健師などを派遣 要配慮者などへの訪問支援を実施

市は、7月28日に発生した令和8年熊本地震で被害を受けた、熊本県八代市に8月7日から当面の間、保健師など医療職2名と事務職員1名を派遣する。この派遣は、8月4日の「活力ある地方を創る首長の会」において八代市長より要望があった保健師の派遣要望に即時応えるもので、国・府の枠組みを超えて、同市へ単独派遣するもの。

1. 支援実施の経緯

7月28日の発災以後も猛暑が続く被災地では依然として多くの被災者が避難生活をされているが、熱中症などの災害関連死を防ぐことが喫緊の課題となっている。このような状況の中、要配慮者などの訪問支援を行うため、八代市長より要望があった保健師の派遣に応え、保健師を含む3名を当面の間同市へ単独派遣を行うもの。

2. 支援内容及び移動方法

支援内容：職員3名（保健師など2名、事務職員1名）

活動場所：八代市内被災地

要配慮者（独居高齢者）などの巡回など

派遣期間：8月7日（金）～当面の間

第1クールは8月7日（金）～8月10日（月）

現地での訪問は、8月8日（土）から開始

<お問い合わせ>

危機管理部 危機管理対策推進課 ☎072-841-1270、FAX072-841-3092

メールアドレス：kikikanri@city.hirakata.osaka.jp